

令和6年度 事務事業マネジメントシート

| | | | | |
|-----|----------------------|---------|-------|---|
| 事業名 | 農業委員会経費 | 事務事業No. | 12- | 2 |
| 会計 | 款 | 項 | 目 | |
| 一般 | 6 | 1 | 1 | |
| 政 策 | 7 生活を支える担い手があり続けるために | 課名 | 産業課 | |
| 施 策 | 7-1 農業の振興 | 係名 | 産業振興係 | |

1 事務事業の目的・内容

| | | | | |
|------|--|-------------|-----------------------|--|
| 事業目的 | 対象 | 農地所有者、担い手農家 | 目的（対象がどのような状態になっているか） | 意欲ある農業経営体への農地集積、新規就農者及び担い手の確保・育成を図り、経営規模の拡大と耕作放棄地の解消に努めます。 |
| 事業内容 | <p>農業委員会が取り組む最も重要な業務として位置付けられている「農地等の利用の最適化の推進」業務を農業委員及び農地利用最適化推進委員と連携して取り組みます。</p> <p>○農業委員：毎月1回定例会を開催し、農地法に基づく農地転用や売買、貸し借りなどの許認可等の法令業務及び現地確認調査を行います。</p> <p>○推進委員：担い手への農地の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、担い手の育成、新規参入の促進など現場活動を行います。</p> | | | |

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

| 指標 | 指標名 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 単位 | 目標方向 | 令和7年度（目標） |
|-----------|--------------|-------|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | 1 人・農地プラン作成数 | 2 | 2 | 2 | 件 | ↑ | 5 |
| | | | | 令和5年度（決算） | 令和6年度（決算） | 令和7年度（予算） | |
| 全体事業費（千円） | | | | 3,620 | 3,514 | 4,039 | |
| 財源内訳 | うち一般財源 | 3,256 | 3,024 | 3,547 | | | |

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

| 個別評価 | 必要性 | 今後の必要性 | B必要性は変わらない | 有効性 | 目標達成度 | A達成できた |
|------|-----------------------------|---------|------------|-----|---------|------------|
| | | 町関与の必要性 | A町が担うべき | 効率性 | 対象者の適切性 | A対象者は適切である |
| | | | | | コストの削減 | A削減の余地はない |
| 総合評価 | II 継続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき） | | | | | |

(2) 事務事業の業務改善について

| | | | |
|----------------|---|----------|--|
| ①R6年度の改善計画 | ・目標地図、地域計画の策定を進める。 ・目標地図、地域計画の達成に向けて各地域における農地に関わる課題に対し、解決に向けた協議が必要 ・タブレットの利用促進のため、まずは活動報告をタブレットを使用した提出に切り替える。 | ③取組の課題 | ・目標地図、地域計画の実現に向けての課題を整理する必要がある。 ・タブレット利用について、使いこなすにはまだまだ時間がかかる。 |
| ②R6年度に実施した取り組み | ・目標地図、地域計画を策定した。 ・活動報告、農地パトロール業務にタブレット利用を開始した。 ・農業委員会での審議方法を議案ごとに審査ポイントを説明する形式に変更した。 | ④今後の改善計画 | ・目標地図、地域計画の実現に向けての課題を整理する。また、必要に応じ計画を変更する。 ・タブレット利用促進について、事務局のサポートなしで使えることを目標とする。 |